

事業所における自己評価結果(公表)

別紙

公表: 令和6年4月1日

事業所名 多機能型事業所ブランカ 放課後等デイサービス

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	1	2	3	・利用人数が多い際は車椅子を別室に移動している・順番にマットの上に横になるように対応している
	②	職員の配置数は適切であるか	2	3	1	・男性職員が男性ご利用者様の人数に対して少なかったため、男性職員の増員を行った・食事介助の場面でマンツーマンでの対応になるため、介助者が少ないと感じることがある
	③	事業所の設備等についてバリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	2		・バリアフリーの要件を満たしている
	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5	1		・職員間で情報共有ができるよう常に努力している・各自が目標を持ち、計画的に進めている。朝礼、夕礼、職員会議、支援会議を通じて共有化を測っている
業務改善	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	2	4		・保護者会や面談、送迎時の話しを通して意向を伺い、業務改善に繋げている
	⑥	この自己評価表の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか		3	3	・自社ホームページに掲載
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		2	4	次年度実施予定
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	2		・定期的に研修を行っている
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	6			・ニーズや課題について全体で周知し、個別の課題に取り組む活動日を設定している・面談期間を設定し、対面での保護者面談を行うことでニーズを把握している
適切な支援の提供	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	2		・フェイスシートを用いてアセスメントを行っている
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6			・1か月ごとに活動会議を行い、反省点や良かった点をチームで振り返り、次の活動に活かしている
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6			・月に1回活動会議を行い、活動の内容について話し合っている・週ごとに活動を変えている
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6			・サービス提供時間が長い場合、外出の時間をつくるなどの工夫をしている
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	1		・個別の活動の時間や集団レクリエーションの時間を設定している

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	1		・前日からの引き継ぎ事項を確認し、1日の流れを打ち合わせている
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	1	3	2	・送迎業務、記録業務を行うため、時間の確保が困難であるができるだけ行うようにしている できなかった場合は翌日の朝に時間をとって確認している
	17	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	1		・記録をとり、いつもと違う様子が見られた場合には朝礼や支援会議の中で共有している
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	1		・6ヶ月に1回以上モニタリングを行い、課題に応じて個別支援計画を見直している
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	4	2		・ガイドラインに基づいて活動を行っている。機械浴による入浴支援も希望する児童に対して行っている
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6			・担当者会議には児童発達支援管理責任者だけでなく、児童指導員や看護師も参加している
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	6			・行事予定や送迎時間・方法の確認を適宜行っている
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	3	3		・学校用の医師の指示書ではなく、プランカの書式を作成している・主治医との連絡体制を整えている
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	4	1	・小学部1年生のお子様に関しては、以前通っていた施設から情報を共有していただいた
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	2	1	・移行支援会議に参加し、放課後等デイサービスでの様子をお伝えしている
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	2	2	・専門機関が実施する研修に参加する機会があり、助言をいただいた場合は職員に共有している
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		4	2	・今後、交流の機会を作っていく
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	2	1	3	・地域の放課後等デイサービスの連絡会に参加している
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	1		・送迎時やHUG、面談などで保護者様とやり取りをしている
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		2	4	・ペアレントトレーニングは実施していないが、今後は実施できるようにしていきたい
	30	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6			・見学や体験、契約時に説明している

	③①	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と指導を行っているか	1	4	1	・面談期間を設定し、相談できる機会を作った
保護者への説明責任等	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	1		・月1回保護者様同士で話し合う機会を作っている ・保護者会を年2回開催している
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6			・苦情があった場合には受付担当を通して受付、解決責任者のもと記録をとり、改善に向けた検討会を開催し、迅速かつ適切に対応している
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6			・日々HUGで活動の様子を写真や動画で伝え、必要事項の連絡を行っている 毎月おたよりを発行し、行事予定について記載している
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	5	1		・個人情報に記載されている書類は鍵付き書庫で保管している PCも退勤時には鍵付き書庫にしまっている
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思疎通や伝達のための配慮をしているか	6			・言葉だけでなく、視線や表情、ジェスチャー、絵カードなどを用いて関わっている
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		6		・施設の内覧会を行い、地域住民の方に来ていただくことがあった
	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対策マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	1		・契約時にマニュアルがあることをお伝えしている ・詳しい内容についてはまでは説明しきれていないため、今後周知していく
	③⑨	非常災害に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6			・年に4回避難訓練を行い、避難経路の確認等を行っている
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等適切な対応をしているか	5	1		・虐待防止委員会の設置、虐待防止研修の定期的な開催をしている
	非常時等の対応	④①	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明した上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5	1	
④②		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	1		・食物アレルギーのあるお子様には医師の指示書に基づく対応を行う ・契約時にアレルギーの有無を確認している
④③		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5		1	・事故報告書やヒヤリハット報告書をまとめたものを共有し、再発防止に努めている

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。